

# 補助金担保融資が評価

## SDGs金融の実績に

Tranzax

フィンテック企業の Tranzax（東京都）が提供する補助金担保融資「補助金対応POファイナンス」は7月2日、SDGs（持続可能な開発目標）原則に沿ったソー

シャル・ファイナンス（グリーン含む）の枠組みとして、日本格付研究所（JCR）の評価を取得した。再生可能なエネルギーなどSDGsの各種テーマに合致した国や自治体の

補助金であれば、これを担保とした融資をSDGs金融の実績にできる。

SDGs金融は、信託銀行や大手地方銀行で広がるが、金融手法の開発、対象先へ投融資、モニタリング、第三者認証などに手間がかかっていた。今回の枠組みで、この作業を簡略化できる。

対象は経済産業省や環境省、東京都中小企業振興公社、京都市な

どの補助金制度。大手信用金庫からは「事業再構築補助金での活用ができないか」という要望も出ている。

補助金対応POファイナンスは、国や自治体などが企業へ補助金を交付を決定した時点で、電子記録債権を担保に金融機関が対象企業に融資できる仕組み。融資先は通常の補助金支給時期よりも早期に資金調達が可能。

金融機関は、補助金が振り込まれる信託銀行の口座から直接回収できる。

提携先は商工組合中央金庫、地銀4行（横浜、広島、西京、福岡）、7信金（城南、西武、東京東、朝日、豊田、大阪シティ、観音寺）、文化産業信用組合の13機関。すでに、ものづくり補助金を中心に38件・3億2100万円の実績がある。